



宇城市教育大綱

「宇城市の子供・市民は地域の宝」

～笑顔とあいさつ、そして1秒の言葉で輝くまちづくり～

宇城市教育大綱
を紹介します！

※カラー版は学校HPに掲載中です 令和6年6月4日 第7号 校長 志水 英子

5月28日（火）～29日（水）、6年生が、

修学旅行に行ってきました

平和学習では、語り部の田中安二郎さんの講話をお聞きし、班毎にボランティアの方々の説明を聞きながら原爆落下中心地、如己堂、浦上天主堂、山里小学校などを見て回りました。そして、最後に原爆資料館を見学し、千羽鶴を捧げ、誓いの言葉を述べ、平和を祈って歌い、平和集会を行いました。

田中安二郎さんは、戦争がいかに悲惨であるかということと共に、子供たちに「一度しかない人生だから夢に向かって勉強してほしい。勉強は、人と比べなくてよい。自分の好きなことをやってほしい。」というメッセージを伝えてくださいました。

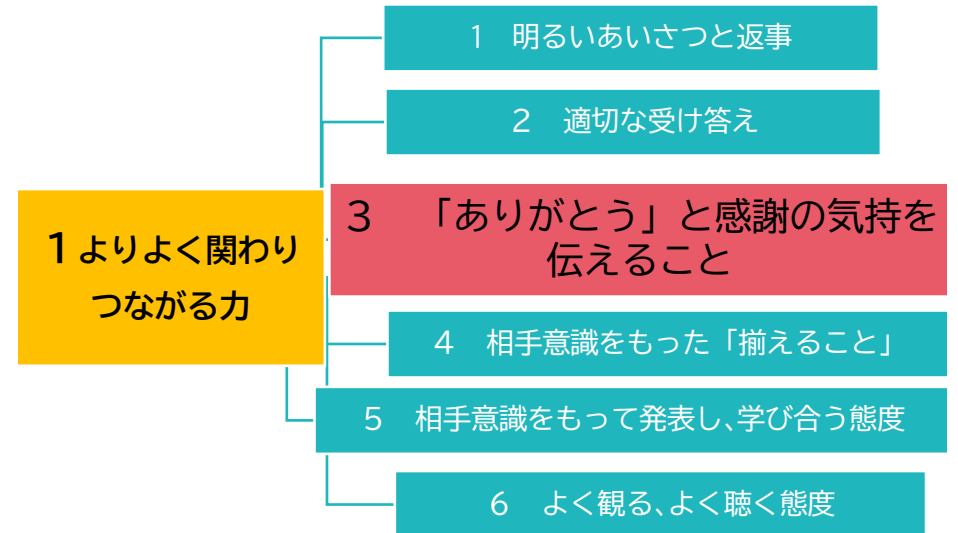
また、「被爆者の平均年齢は、85歳になっている。被爆者から直接話を聞いたあなたたちに、ピースメッセンジャー(平和の使者)になってほしい、あなたたちに託します。」と語りかけられました。田中さんの言葉は、子供たちの胸にしっかりと刻まれたと思います。きっと子供たちは、今回の学習で感じたこと、考えたことを日々の生活に活かし、行動していつてくれるものと期待します。



豊福小学校の子供たちに身に付けさせたい力

1 よりよく関わりつながる力

今日は、「3 『ありがとう』と感謝の気持ちを伝えること」について考えていきます。



私達が人に言われてうれしい言葉に、「ありがとう」という言葉があります。この言葉は、子供たちが、「よりよく関わりつながる力」を身に付けるうえで、最も影響力のある言葉ではないかと私は考えます。一方で、「ありがとう」は、心が伴ってこそ、相手に伝わる言葉です。学校では、感謝を素直に伝える態度を育てると同時に、感謝の気持が生まれるような日々の教育活動を(意図的に)展開しています。委員会活動、係活動、ボランティア活動、助け合い・支え合い・学び合いの場面、給食指導等々、様々な当たり前が多くの人々の支えで成り立っていることにぜひ気づかせていきたいです。